



北九州市戸畑区役所 まちづくり推進課

〒804-8510
北九州市戸畑区千防一丁目1-1
TEL (093) 871-1501
<http://www.city.kitakyushu.jp>



区内のおもな公園 休みの日には、散歩やピクニックに出かけませんか？

都島展望公園

洞海湾を一望できる「夕日の名所」として名高い自然公園。グラウンドや広場が整備されています。また、この一帯にはかつて約30基の古墳があり、現在も2基が牧山古墳群として見学することができます。



MAP[A]-2

美術の森公園

市立美術館周辺の広大な森。遊歩道の周辺には、ところどころ彫刻などのオブジェも置かれ、気持ちのよい空気の中、散歩を楽しむことができます。高台に出ると、すばらしい眺めが広がります。



MAP[C]-4

夜宮公園

戸畑区のほぼ中央にある緑豊かな公園。四季折々の美しい花が楽しめ、特に花菖蒲は日本有数の規模を誇っています。開花時期に開かれる「とばた菖蒲まつり」には、市内外から多くの人が訪れます。



MAP[C]-3

中央公園(金比羅山)

戸畑区・小倉北区・八幡東区にまたがる広大な総合公園で、芝生広場やアスレチックなども整備されています。桜の遊歩道を通って金比羅山頂に登ると、戸畑の街が一望できます。



MAP[C]-4

戸畑花ごよみ

代表的な花	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
椿												
梅												
桜												
なんじゃもんじゃ												
つつじ												
戸畑あやめ												
花菖蒲												
紅葉												



梅(夜宮公園)



初夏のなんじゃもんじゃ通り

石碑めぐり

道を歩いていると、数多くの石碑があることに気付きます。ここに示すのはほんの一部です。あなたは戸畑区内でいくつの石碑を見つけましたか？

万葉歌碑

「ほととぎす 飛幡の浦にし
く浪の ししば君を見む
よしもがも」
この歌が詠まれた奈良時代の戸畑の海岸は、白浜に老松が群生する美しい浜辺だったそうです。



夜宮公園内 MAP[C]-3

(そば) 神饌蕎麦耕作地碑

昔、戸畑では蕎麦の栽培が盛んで、この碑は、神饌そば(神饌とは、神に差し上げるという意味)の耕作地に選ばれたことを記念して作られたものです。

戸畑が蕎麦の名産地だったなんて驚きですね。



飛幡八幡宮内 MAP[B]-2

若山牧水歌碑

明治から大正にかけて活躍した歌人・若山牧水は、戸畑の地を三度訪れています。その際に詠まれた歌からは、当時の戸畑の様子をうかがい知ることができます。



旧区役所裏 MAP[C]-2



南島旗町5番 MAP[B]-1

国境石

かつて、中原の境川を境にして西側が筑前国、東側が豊前国に分かれていました。国境石とは江戸時代、国境を明らかにするために国境沿いに置かれたものです。



旧区役所前 MAP[C]-2

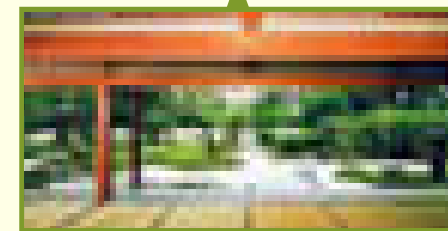


金比羅池 MAP[B]-4

歩いてめぐる とばたガーデニング物語

戸畑区では、区民の皆さんとともに「住みよいまち」をつくるため、花と緑のまちづくり『とばたガーデニング物語事業』を推進しており、市民センターなどでガーデニングによる緑化活動に取り組んでいます。区内にはこの他にも、美しい庭を持つ施設や花の名所がたくさんありますのでぜひお訪ねください。

旧松本家住宅(西日本工業倶楽部) MAP[C]-3



一枝市民センター MAP[C]-3



朝ヶ谷ガーデン MAP[C]-4



戸畑あやめ公園(大谷) MAP[B]-3



朝ヶ谷市民センター MAP[C]-4



牧山東市民センター MAP[B]-2

戸畑自然遊歩コース

約1万歩、1時間

- 途中、街灯のない山道を通るので、天候等に十分留意して下さい。
- 気軽にウォーキングを楽しみたい方には、比較的平坦で整備されている金比羅池周遊コースがおすすめです。



区内にはこの他にも、各市民センター(12ヶ所)を起点・終点としたウォーキングコースがあります。詳しくは、戸畑区生活支援課(871-1501)へ。

とばた — TOBATA MAP — スップ



北九州市戸畑区

● みどころ

若戸大橋



リリー・フランキーのベストセラー『東京タワー』で、「まるで東京タワーを横に倒したよう」と形容された、戸畑と若松南海岸を結ぶ深紅の橋。
夕暮れ時、橋の下を渡船がポンポンと音を立てて進む姿はとてもノスタルジックです。

夏には両岸で「くきのうみ花火の祭典」が開催されます。

※ 出典:『東京タワー オカンとボクと、時々、オトン』(リリー・フランキー著、扶桑社)



戸畑あやめ

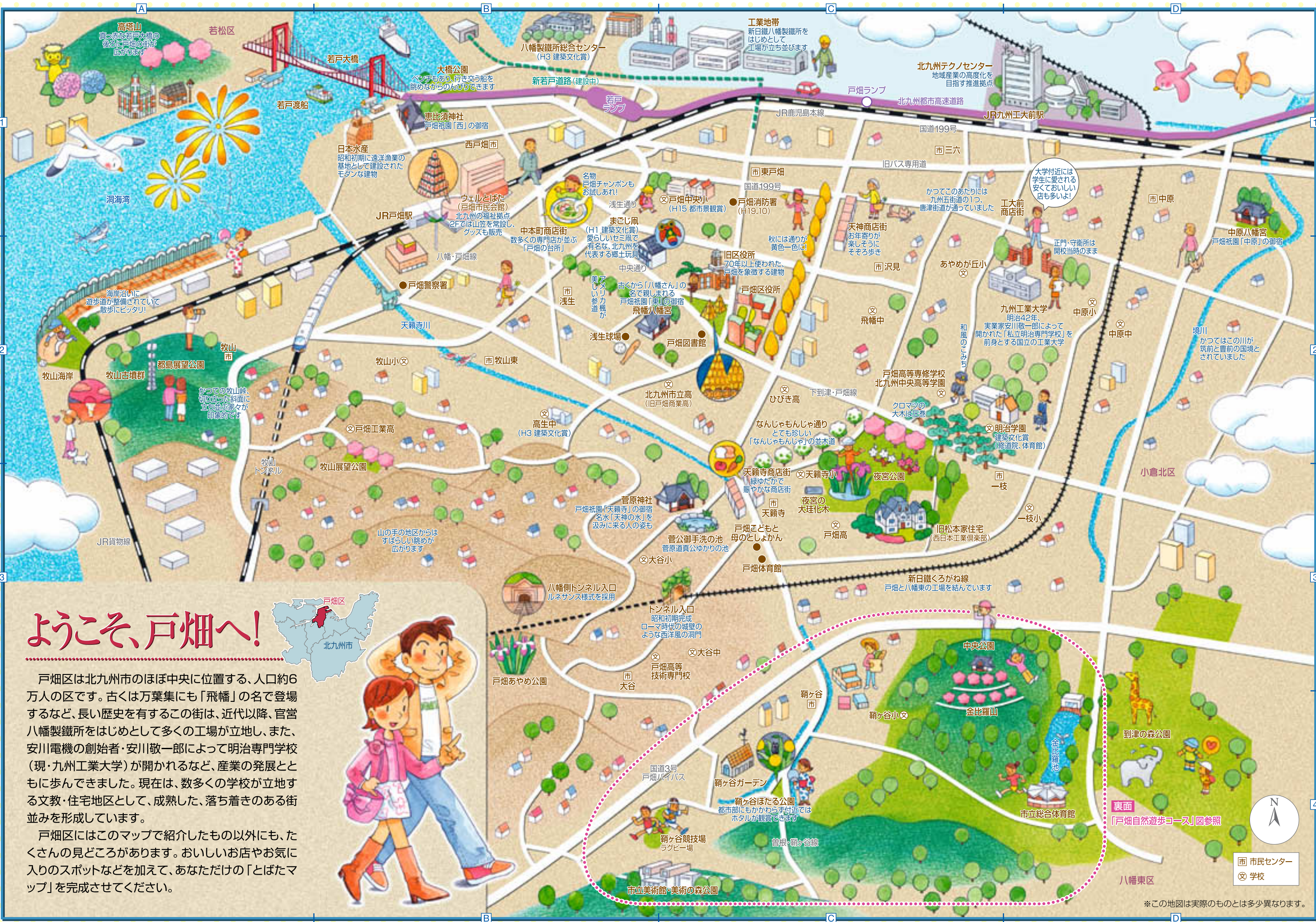
明治末期まで戸畑区の原野にのみ自生し、その後絶滅したと考えられていましたが、戦後、区内の農園で発見され、地域の方々によって保存・普及活動が進められてきた「伝説の花」です。

草丈が低く、葉陰に可憐な花を付けるのが特徴です。戸畑あやめ公園(大谷)や戸畑区役所屋上などで観賞することができ、市民への株分けも行われています。

北九州市立美術館



小高い丘にそびえる、双眼鏡を思わせる建築。磯崎新設計。
ルノワール、モネなどの世界的名品をはじめ、油絵・水彩・彫刻・版画などが数多く所蔵されています。
周辺一帯は「美術の森公園」として整備されており、さわやかな空気の中で芸術に親しむことができます。



● みどころ

戸畑祇園 大山笠行事

200年以上の歴史を持ち、国の重要無形民俗文化財にも指定される戸畑区の伝統行事。格調高く華麗な幟山笠が、夜には提灯に彩られた光のピラミッドに姿を変えます。

高さ10m、重さ2.5tもの提灯山笠を「ヨイトサ、ヨイトサ」の掛け声で男衆が担ぎ進む姿は、勇壮かつ幻想的です。

毎年7月第4土曜日には、8体の山笠が勢揃いして競演会が開催されます。(戸畑区役所前)



夜宮の大珪化木

珪化木とは、樹木が倒れて地中に埋まり、それが長年の間に化石となったものです。

この珪化木は約4000万年前の地層から発見された日本最大級のもので、国の天然記念物に指定されています。

旧松本家住宅(西日本工業倶楽部)



明治期に父・安川敬一郎とともに鉱業を興して成功した事業家・松本健次郎が自宅兼迎賓館として建設したもので、国の重要文化財に指定されています。アールヌーボー様式の洋館と数寄屋造り・書院造りの日本館からなり、洋館は、東京駅や日銀本店の設計で知られる建築家・辰野金吾によるものです。

敷地内の広大な庭園は、春のツツジ・秋の紅葉の時期にはことのほか美しく、春と秋の一般公開には大勢の人が訪れます。

